



衆議院議員 かと博文 活動報告

かとTOPICS

□ 議員連盟「日本の未来を考える勉強会」に出席



コロナショック以前の国民生活、雇用、経済力及び生産能力を維持するためには、前例にとられない迅速かつ大胆で、きめ細やかな財政出動を更に実行すべきです。

そこで議員連盟は、自民党及び政府へ「国民を守るための”真水100兆円” 令和2年度第2次補正予算編成に向けた提言」を作成いたしました。

例えば、持続化給付金の大幅拡充50兆円、特別定額給付金(第1次補正予算では一律10万円の給付)の複数回追加給付26兆円、中小企業に対する政府保証に

よる資本注入10兆円、医療・介護現場への支援5兆円、地方公共団体への臨時交付金大型追加交付5兆円など全ての国民の皆様の生活を全力で守り抜く廃業や倒産はさせないそんな気概で提言していきます。

□ 感染症対策勉強会より自民党岸田政調会長へ要請



木村もりよ先生を招いて感染症対策勉強会を開催



岸田政調会長へ要請書を提出

門博文を含む衆議院議員17名、参議院議員2名が入会している勉強会「博愛会(はくあいかい)」が、元厚生労働省の医系技官で医師の木村もりよ先生をお招きして、感染症対策の勉強会を開催しました。

「新型コロナウイルス感染症の“対策を決める”うえで、明らかにできていない部分を特定することが大変重要」とのお話でした。その明らかにできていない部分を特定するためには①人的、物的な研究資源の集中②精度の高い抗体検査、抗原検査を前提とした無作為抽出による大規模な標本調査、これらの実施、充実が当面の課題とのことです。

そこで博愛会として自民党の岸田政調会長に「要請書」という形にして提出いたしました。岸田政調会長から「検査体制の充実のため予算を確保してまいりましょう」との回答をいただきました。